

株式会社ソルクシーズ（東証1部：4284）



SOLXYZとは"solution"と"xyz"を合成したもので、究極の問題解決を提供したいという願いが込められています。私たちはお客様の夢を実現するソリューション・カンパニーを目指します。

2020年12月期
第1四半期

機関投資家向け
説明資料

2020年6月

<https://www.solxyz.co.jp/>

業績概要：
2020年12月期第1四半期決算



第1四半期 総括

■ **売上高：** 3,150百万円（前年同期比△4.7%）

営業利益： 147百万円（同+ △ 0.2%）

- …第1四半期で新型コロナウイルスの影響は無く、概ね計画どおりの進捗で推移
- …子会社での案件の期ズレなどによりやや減収も、売上総利益率向上により営業利益は微減に留まる

■ **ソルクシーズ本体はFinTech、クレジット関連が好調**

- …企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）は堅調、SBIグループへの事業支援も継続

■ **子会社では先端技術系が好調の他、テレワーク関連需要増も見込む**

- …エクスマーションが好調の他、新型コロナウイルスの影響により、クラウドストレージサービスのFleekdriveが堅調に推移

■ **クレジット分野強化のため、関連企業を子会社化**

- …クレジット向けのコンサルティングサービスを行うアリアドネ・インターナショナル・コンサルティングを連結子会社化

新型コロナウイルスの業績への影響について

- ・ 第1四半期決算（1～3月）については新型コロナウイルス感染症の影響はほぼ無し
- ・ 第2四半期以降については開発の延期や中止などマイナスの影響の可能性はあるが、テレワークによる需要増など各子会社でプラスの影響も存在するため、今後の業績への影響を精査中

新型コロナウイルスによる各子会社への影響

	会社名（主な専門分野）	プラス影響	マイナス影響
	ソルクシーズ（本体） （ソフトウェアの受託開発全般）	クレジット、キャッシュレス決済対応の増加・加速	現状開発中止などは無く影響はないが、2Q（4月）以降は影響が発生する可能性あり
	エクスマーション （CASE、医療分野開発コンサル）	今のところ目立った点は無し	今後の影響については未定、現在状況を精査中。
	イー・アイ・ソル （製造業を中心としたIoT）	今のところ目立った点は無し	顧客の中心が製造業のため、今後の受注に影響の可能性あり（現時点では受注に影響なし）
	ノイマン （自動車教習所システム）	学校休校により、塾向けeラーニングシステム「Kojiro」の引き合いが増加中	自動車教習所の営業自粛の影響 ベトナムでのeラーニングシステム展開プロジェクトが一時的にストップ
	Fleekdrive （クラウドストレージサービス）	・テレワーク急増によりストレージサービス「Fleekdrive」のライセンス需要が急増 ・現在無償提供キャンペーンを実施中	一部営業活動/展示会出展の自粛

第1四半期決算 損益サマリー

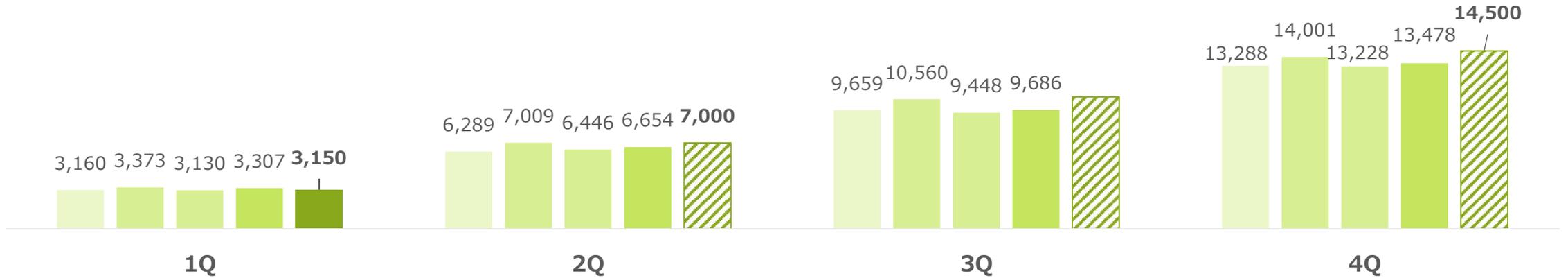
- ・子会社での案件の期ズレや前期好調だった通信系案件がやや縮小し減収も、概ね計画どおりの推移
- ・利益率の高いソリューション事業や組み込み開発の伸長により、売上総利益率の他、各利益率は上昇傾向

(単位：百万円)	2019/12期 1Q	売上高比	2020/12期 1Q	売上高比	前年同期比 増減率
売上高	3,307	-	3,150	-	-4.7%
売上総利益	683	20.7%	683	<u>21.7%</u>	0.0%
販売管理費	535	16.2%	535	17.0%	0.1%
営業利益	147	4.5%	147	4.7%	-0.2%
経常利益	148	4.5%	156	5.0%	5.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	89	2.7%	96	3.1%	8.1%

損益サマリー-四半期別推移 (売上高)

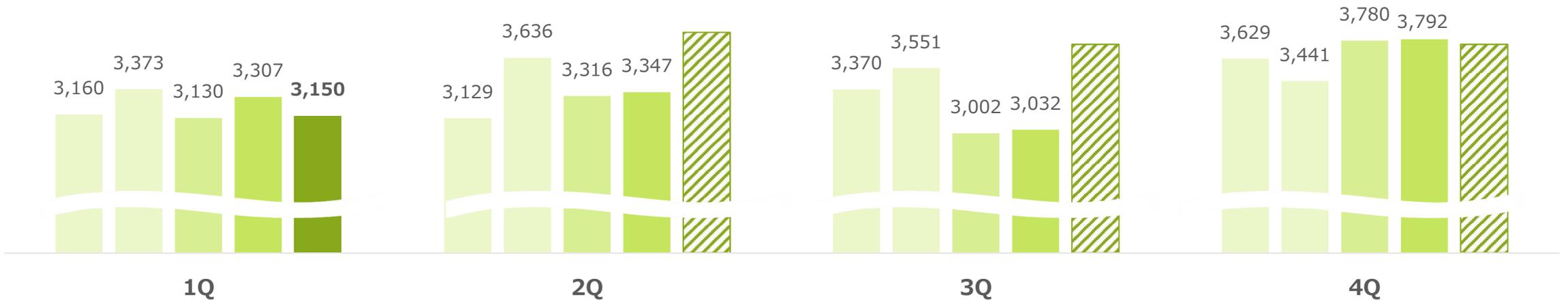
四半期毎の売上高推移 (累計)

■ 16/12期 ■ 17/12期 ■ 18/12期 ■ 19/12期 ■ 20/12期 (計画含む)



四半期毎の売上高推移 (四半期別)

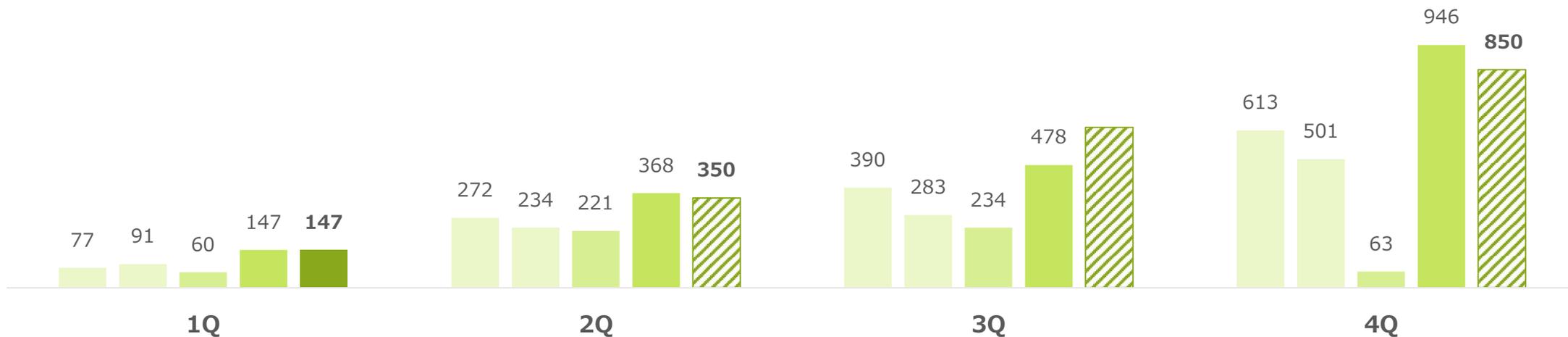
■ 16/12期 ■ 17/12期 ■ 18/12期 ■ 19/12期 ■ 20/12期



損益サマリー-四半期別推移 (営業利益)

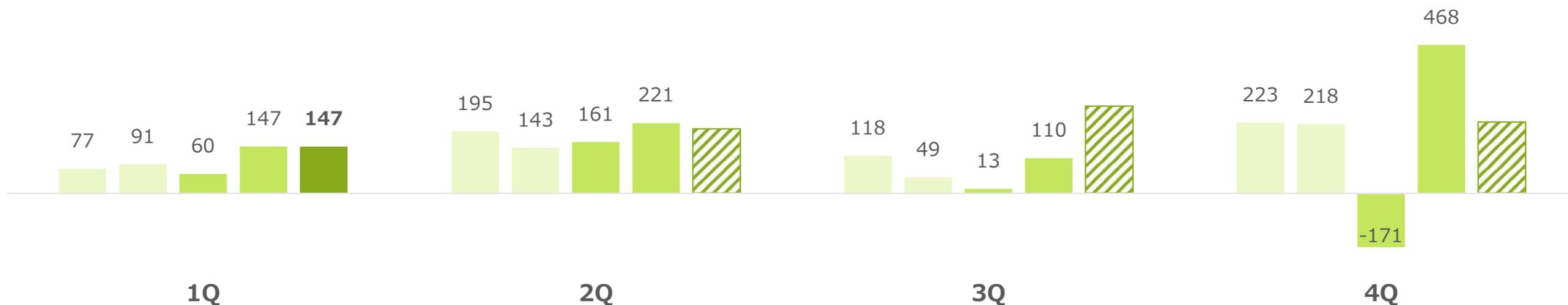
四半期毎の営業利益推移 (累計)

■ 16/12期 ■ 17/12期 ■ 18/12期 ■ 19/12期 ■ 20/12期 (計画含む)



四半期毎の営業利益推移 (四半期別)

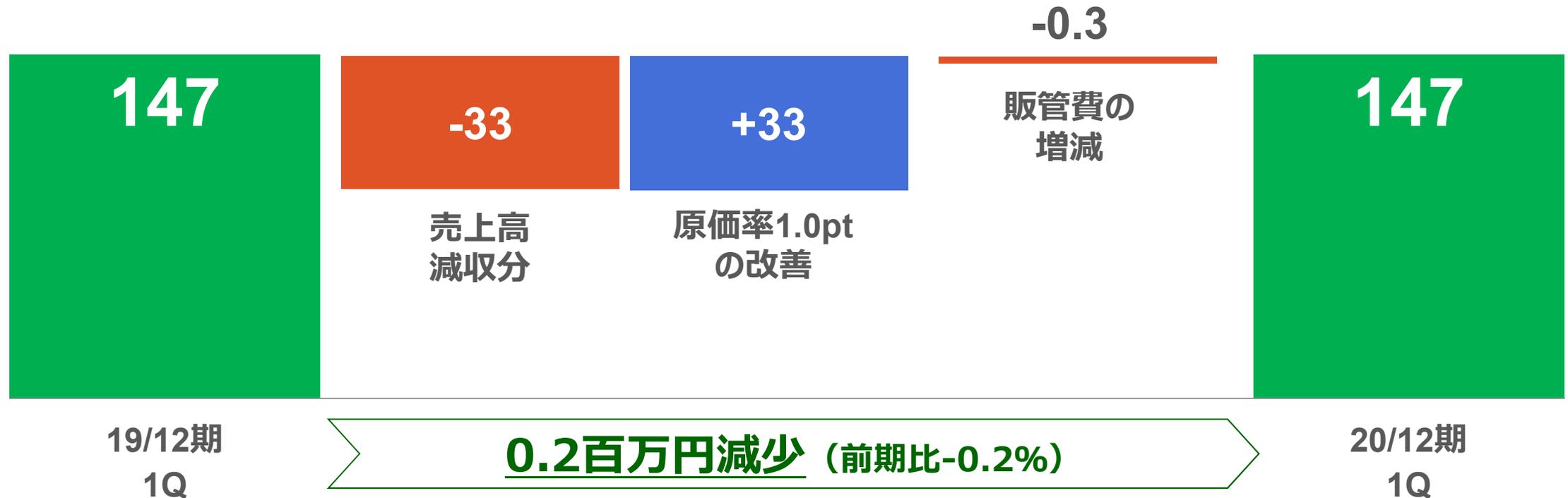
■ 16/12期 ■ 17/12期 ■ 18/12期 ■ 19/12期 ■ 20/12期 (計画含む)



営業利益の変動要因

- ・利益率の高い組込み系開発支援の伸長等により原価率が1.0pt改善、売上総利益率が上昇
- ・売上減収にもかかわらず、ほぼ前年同期比の営業利益を確保

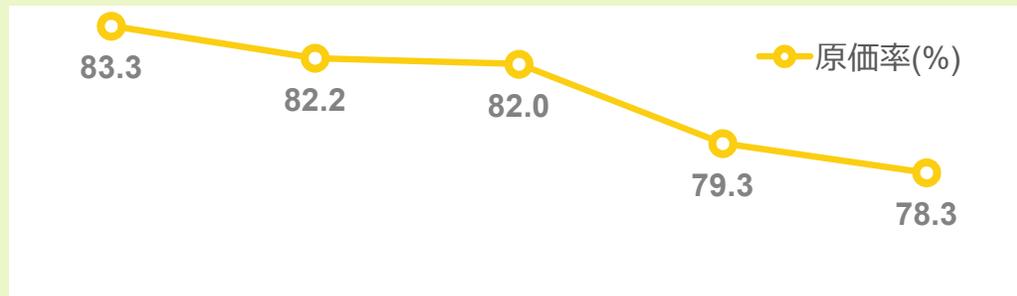
(百万円)



各項目の売上高構成比の四半期比較

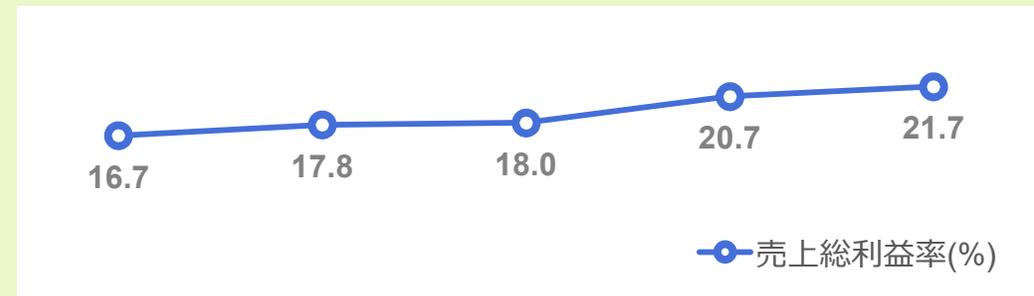
- ・利益率の高い組込み系、ソリューションサービスの伸長等により原価率は低減傾向
- ・販管費はやや上昇も、売上総利益の上昇で吸収、営業利益率も上昇傾向

売上原価率



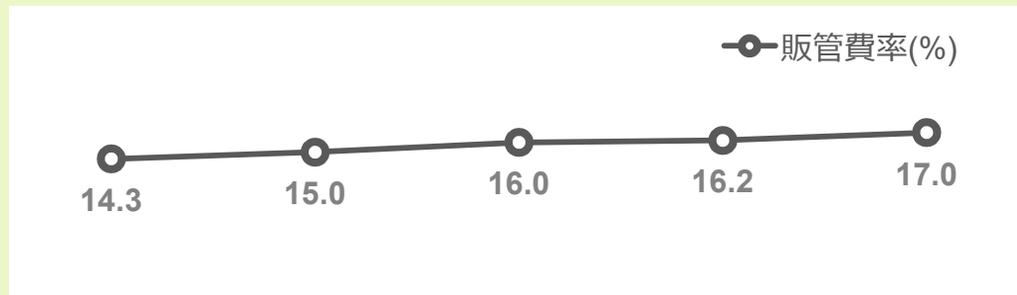
16/12期 1Q 17/12期 1Q 18/12期 1Q 19/12期 1Q 20/12期 1Q

売上総利益率



16/12期 1Q 17/12期 1Q 18/12期 1Q 19/12期 1Q 20/12期 1Q

販管費率



16/12期 1Q 17/12期 1Q 18/12期 1Q 19/12期 1Q 20/12期 1Q

営業利益率



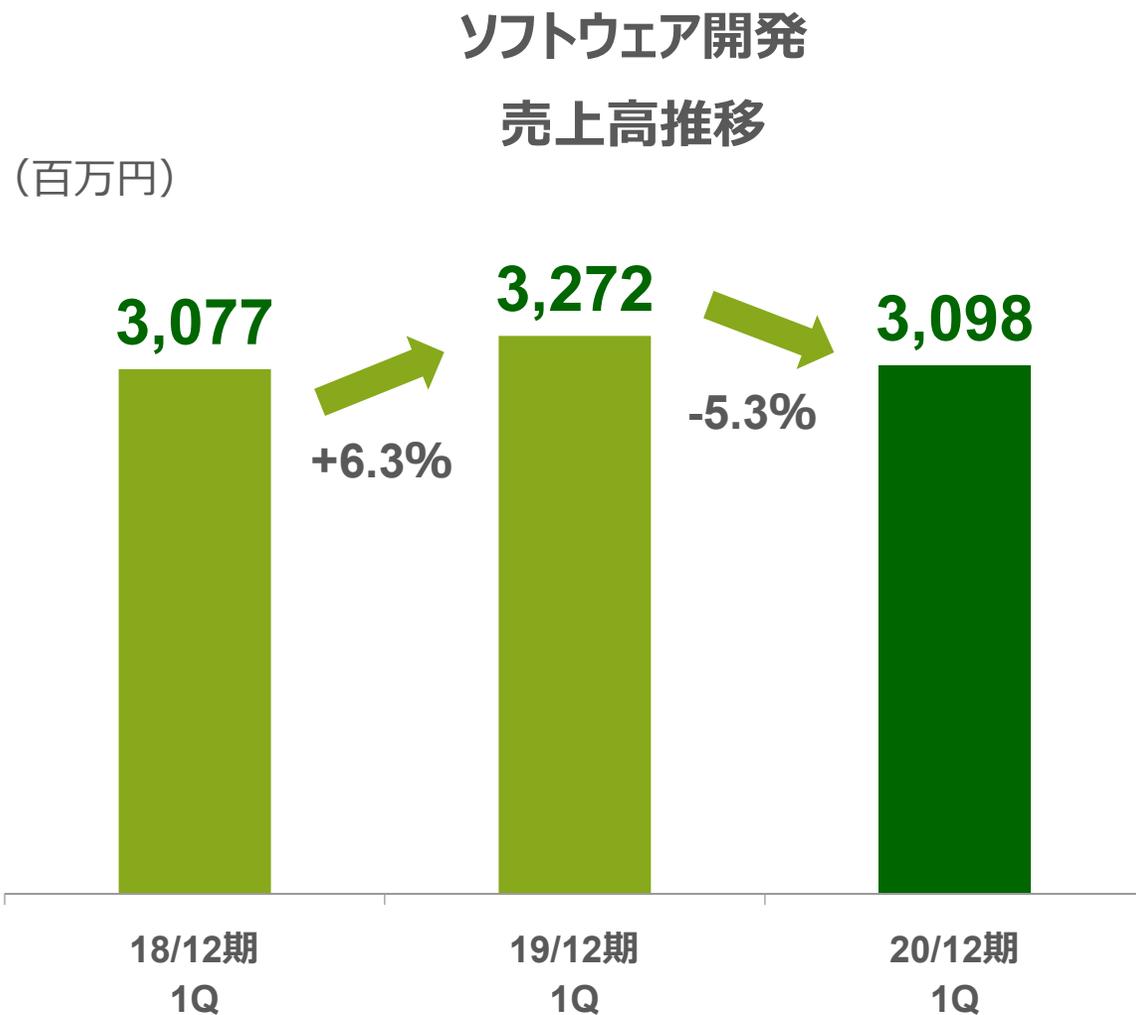
16/12期 1Q 17/12期 1Q 18/12期 1Q 19/12期 1Q 20/12期 1Q

セグメント別損益の前期比

- ・ソフトウェア開発本体でのクレジット、FinTech関連、子会社のエクスマーション等が好調の一方、子会社の案件期ズレなどがあり、減収

	2019/12期 1Q	売上高比	2020/12期 1Q	売上高比	前年同期比 増減率
(単位：百万円)					
売上高 (A+B)	3,307	-	3,150	-	-4.7%
ソフトウェア開発 (A)	3,272	99.0%	3,098	98.3%	-5.3%
デジタルサイネージ (B)	34	1.0%	52	1.7%	+53.5%

セグメント別推移-ソフトウェア開発事業（S Iビジネス）



□ 売上高：3,098百万円

前期比：-5.3%

- ✓ SI/受託開発はFinTech開発が伸長の一方、通信系の開発が一部減少
- ✓ テレワーク需要もあり、オンラインストレージを扱うFleekdriveは堅調に推移
- ✓ 子会社ではエクスマーションが好調も、イー・アイ・ソルにおいて一部案件の期ズレが発生

※当セグメントの詳細

情報システムの分析、設計～開発、移行・保守サービスが主な対象

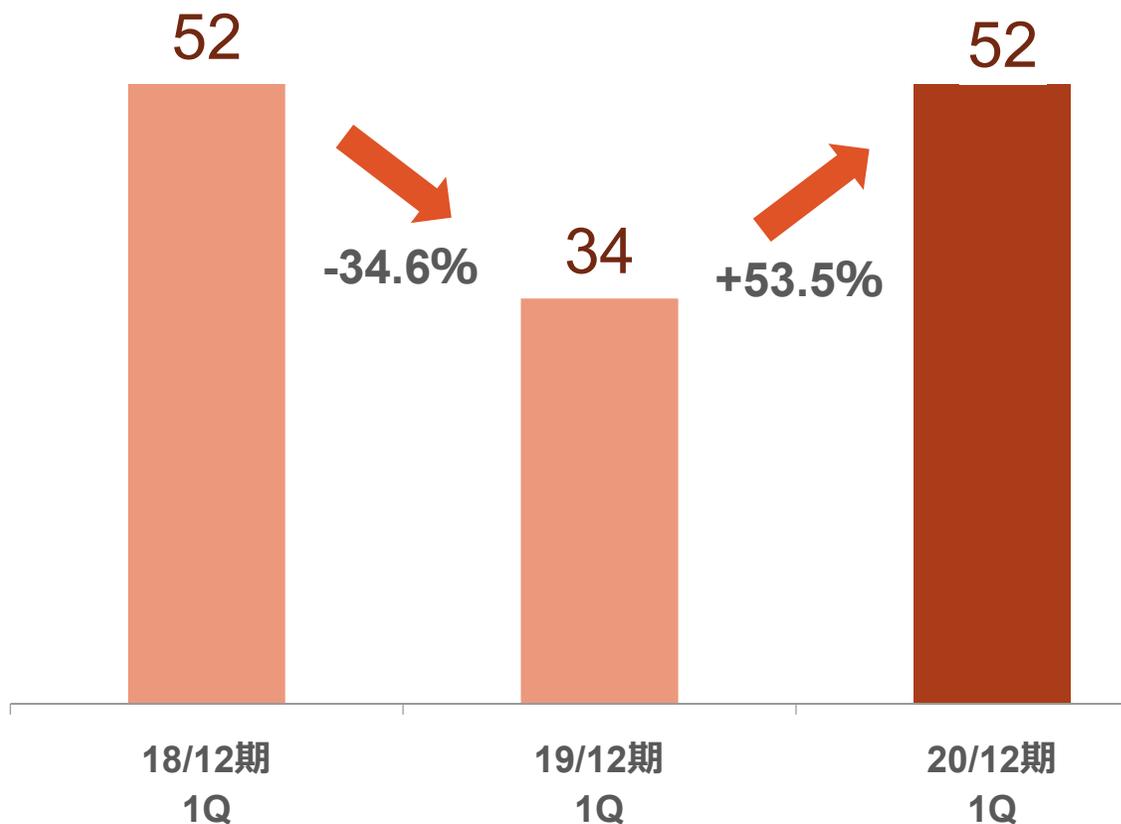
計上対象の売上げ：

連結売上高のうち、子会社インターディメンションズの売上高をひいた売上高

セグメント別推移-デジタルサイネージ事業

デジタルサイネージ事業 売上高

(百万円)



□ 売上高：52百万円

前期比：+53.5%

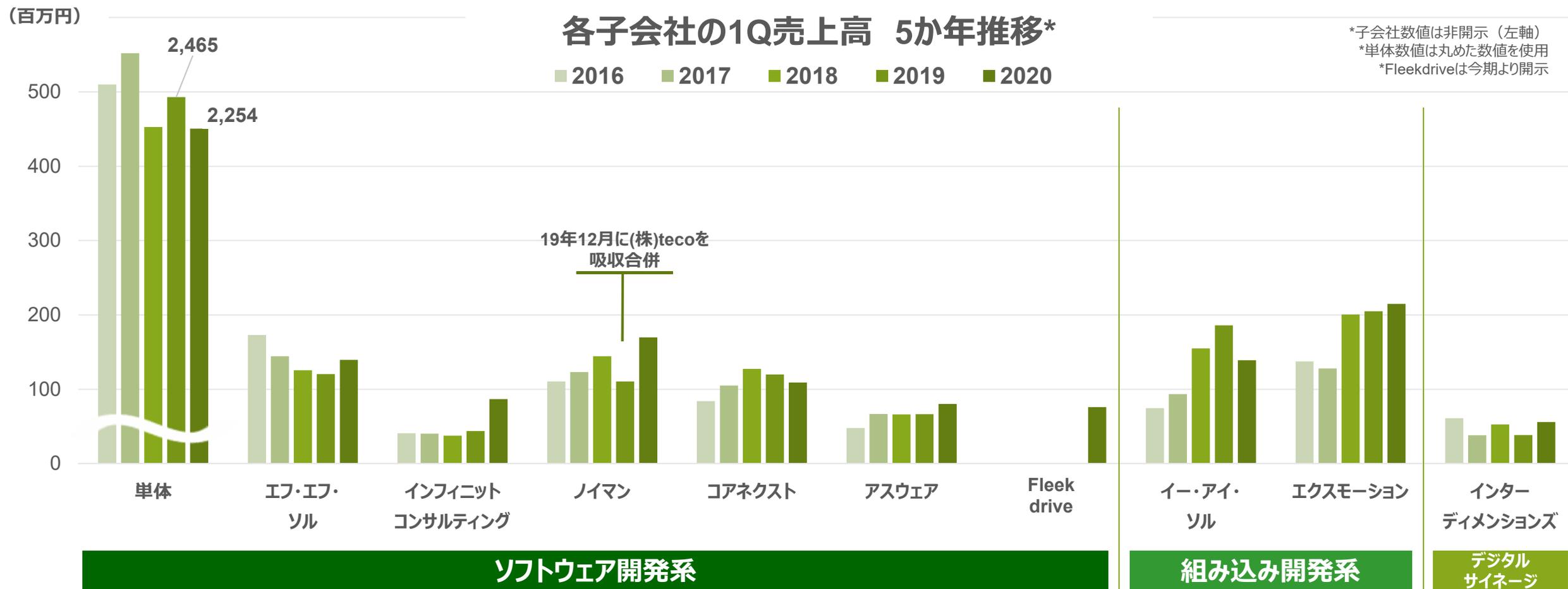
- ✓ 小粒な案件が多く年度によりバラつきがあるものの、第1四半期は堅調に推移

※当セグメント計上対象の売上げ：

ソフトウェア開発事業以外の売上げ = 子会社インターディメンションズの売上げが対象

グループ会社の業績概要イメージ（1Q累計売上高）

- ・エフ・エフ・ソル（地銀関連）、エクスマーシオン（CASE）等が好調
- ・ノイマンが昨年12月にtecoを吸収合併した他、今期よりFleekdriveの数値も開示開始



各子会社の業績概況

ソフトウェア開発事業

業務系受託ソフトウェア・コンサルティング業務		業績（前年同期比）
 Infinite Consulting	(株)インフィニットコンサルティング 概況：コンサル案件が復調	増収増益
業務系受託ソフトウェア・開発業務		
 FFSOL	(株)エフ・エフ・ソル 概況：案件が出始め、回復基調	増収増益
 CORENEXT <small>Take action. Think difference.</small>	(株)コアネクスト 概況：案件縮小・終了を受けた新規顧客開拓の遅れにより減収減益	減収減益
 ASWARE	(株)アスウェア 概況：インフラ投資は引き続き堅調に推移	増収増益
業務系ソリューションサービス		
 neumann	(株)ノイマン 概況：昨年12月に子会社tecoを吸収合併により売上高は伸長も、計画値を下回り増収減益	増収減益
 Fleekdrive	(株)Fleekdrive（フリークドライブ） 概況：顧客数の伸びは順調。テレワーク需要も後押し。	今期より開示

組込み系事業		業績（前年同期比）
 eXmotion	(株)エクスマーシオン 概況：引き合いが多く好調を維持の一方、戦略的投資のため増収減益	増収減益
組込系開発業務・ソリューションサービス		
 E.I.SOL <small>Embedded Instrumentation Solution</small>	(株)イー・アイ・ソル 概況：予知保全などのIoTソリューションは順調も、案件の期ズレが発生	減収減益

デジタルサイネージ事業		業績（前年同期比）
 Interdimensions	(株)インターディメンションズ 概況：小型案件が多く未だコストが吸収できず	増収減益

主要子会社の状況：エクスマーション（自動車・メディカル）

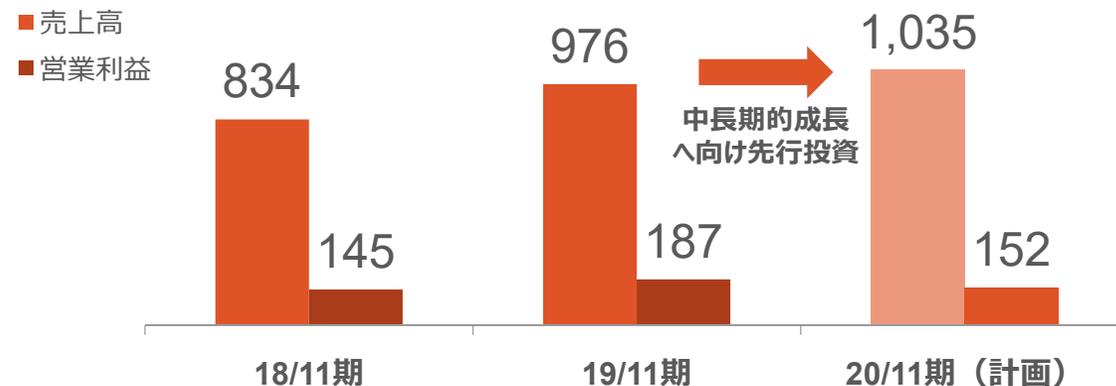
(株)エクスマーション（4394・東証マザーズ）



- ・ 組み込みソフトウェア開発に特化したコンサルティングファーム
自動運転（CASE*）や医療分野に強み
- ・ 今期（21/11期）は過去に培ったコンサルティングのナレッジのデジタル&ストック化へ投資するため、通期で減益の予想
- ・ 第1四半期は成長へ向けた投資のため減益も、受注が堅調で売上高は増収で推移



エクスマーション 通期業績予想 (百万円)



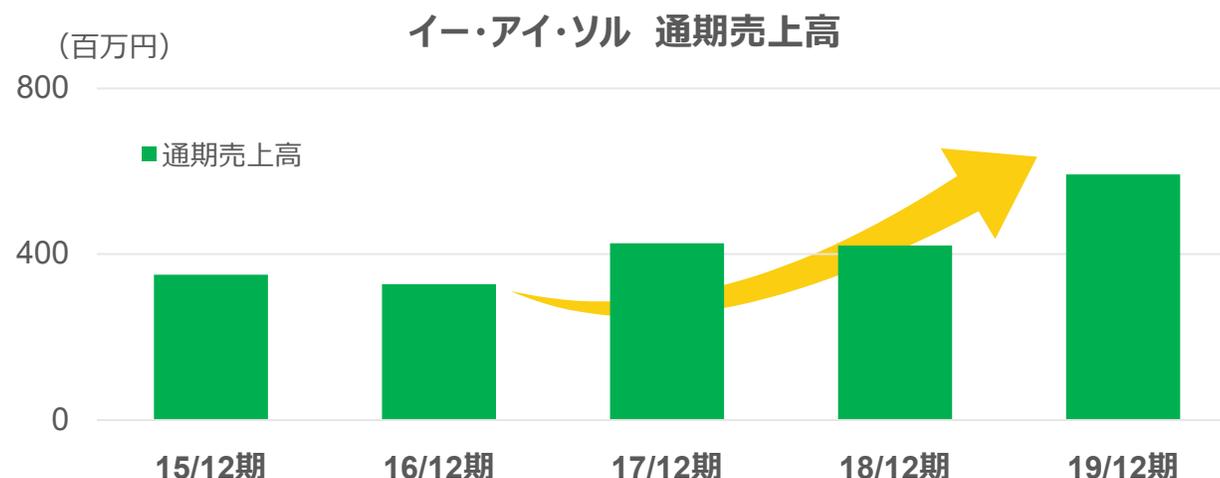
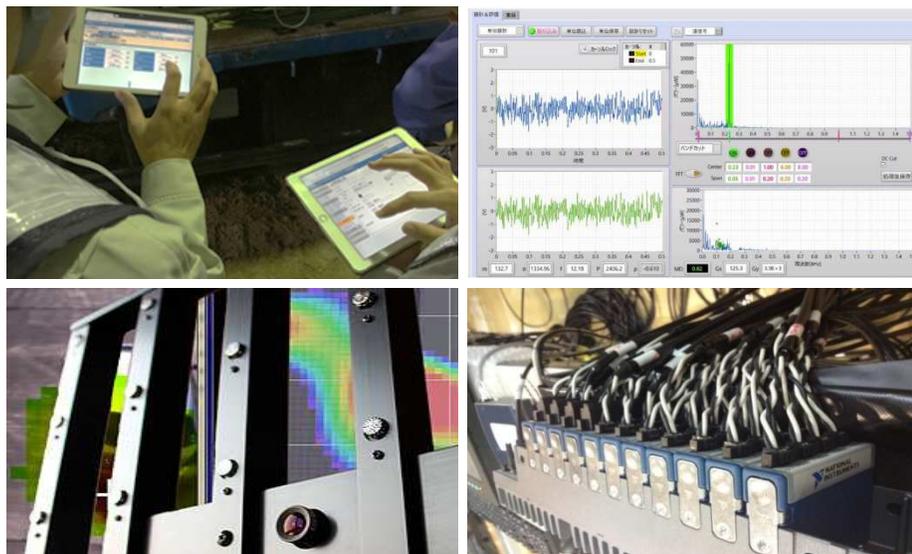
*CASE = Connected（つながる）、Autonomous（自動運転）、Shared（共有）、Electric（電動）、以上の先端技術分野の頭文字を組み合わせた総称

主な子会社の状況：イー・アイ・ソル（IoT・IIoT）

(株)イー・アイ・ソル

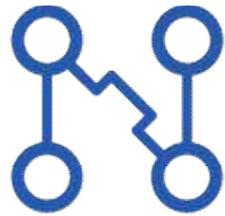
E.I.SOL 
Embedded Instrumentation Solution

- IoT（IIoT）・組込・制御・計測関連（特にセンサー系）のソリューションに特化したソフトウェア受託開発業
- IoTを駆使した工場の「予知保全システム」は、日本ナショナルインスツルメンツ社のデバイスCompactRIO等とEISOLの組込ソリューションの組み合わせであり、既に導入実績あり
- 第1四半期は一部案件の期ズレが発生し減収減益も、予知保全システムの引き合いが伸長



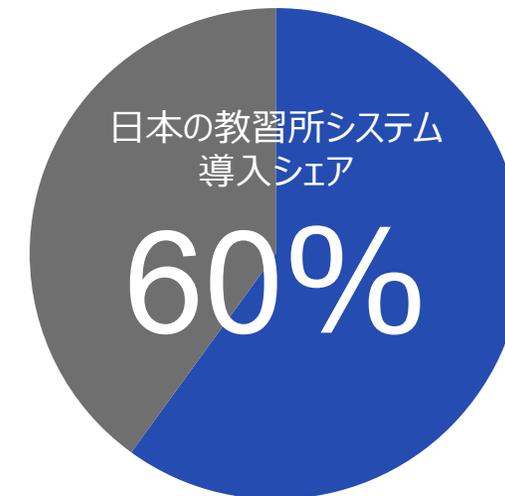
主な子会社の状況：自動車教習所システム（ノイマン）

(株)ノイマン



neumann

- ・自動車教習所向けのeラーニングシステムの開発等、各種ソリューションを提供、**国内自動車教習所における主力システムの導入シェアはおよそ60%を占める**
- ・昨年12月に旧子会社の(株)tecoの吸収合併
- ・今後は日本と同じ自動車教習の流れがあるベトナム等へ海外進出を本格化する予定だが、新型コロナウイルスの影響により、足元ではベトナムの開発が一時的にストップ



主な子会社の状況：(株) Fleekdrive (クラウドサービス)

(株) Fleekdrive



2つのSaaSソリューションを展開



企業向けオンラインストレージ

- ・セキュアな環境を確保
- ・社内&企業間でのファイル共有
- ・複数人での編集機能



クラウド帳票管理ツール

- ・エクセルだけで帳票デザイン
- ・Salesforceと連携

- ・ 2012年より開始、昨年5月に本体より分社化
- ・ クラウド型のストレージサービスと帳票管理ツールを展開、いずれも月額サブスクリプション型で、**ストック型収益の確保に寄与**
- ・ 大手含め契約社数は順調に増加し、20年3月末で約490社、解約率も低い水準で推移
- ・ セールスフォース・ドットコムとも連携、顧客評価で最高位獲得
- ・ 現状国内での競合はなく、最大手の競合は某海外ユニコーン企業
- ・ 既に粗利ベースでは利益貢献をしているものの、営業利益以下での貢献は21/12期以降の予定
- ・ **テレワークの採用拡大により契約数が伸長の他、緊急事態宣言発令に伴う無償提供も実施中**

新たな連結子会社（クレジット分野の強化）

2020年4月、クレジット向けコンサルティングサービスを行う(株)アリアドネ・インターナショナル・コンサルティングと資本業務提携、連結子会社化
拡大するキャッシュレス、コード決済分野の強化を図る



会社名	(株)アリアドネ・インターナショナル・コンサルティング
事業内容	新決済・キャッシュレス決済におけるコンサルティング、国際ブランドに関連するカード分野でのコンサルティングの他、キャッシュレス決済にかかわる教育・出版事業
設立	2020年2月14日
資本金	3百万円（2020年2月末）
取得内容	取得株式数：1,000株（議決権所有割合76.9%） 取得価格：10百万円

注力領域の状況

- 今後のDX（デジタルトランスフォーメーション）を見据え、各子会社がそれぞれ得意とする先端分野へ注力

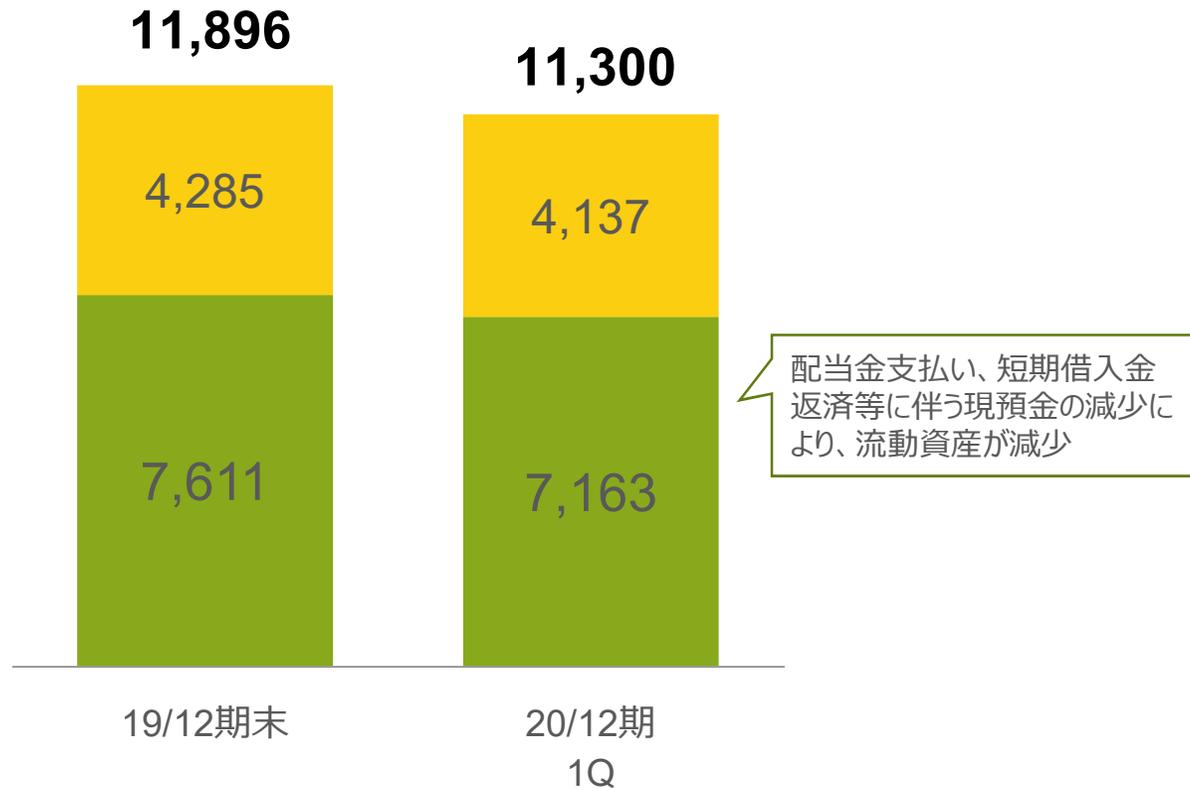
	主な担当会社名 (主な専門分野)	主な進捗
FinTech	ソルクシーズ（本体） (ソフトウェアの受託開発全般)	SBIの事業支援を継続。SBIグループ各社のFinTech系の企業に要員派遣を継続
CASE	エクスモーション (自動運転、医療分野開発コンサル)	エクスモーションが自動車各社に対してソフトウェア設計の支援を継続。CASEのうち、自動運転、EV、コネクティビティを中心に展開
IoT	イー・アイ・ソル (製造業を中心としたIoT)	イー・アイ・ソルが状態監視/予知保全システムを推進。本体における見守りシステムも引き続き継続
Cloud	Fleekdrive (クラウドストレージサービス)	Fleekdriveが中心。Fleekdriveを土台として機能拡充を図り、ERPとして訴求が出来るような製品に育てる。
AI	(株)アックス（出資先）	出資中の(株)アックスの知見を活かし、顧客への提案活動につなげる。

貸借対照表

・自己資本比率は48.4%と健全な範囲で推移

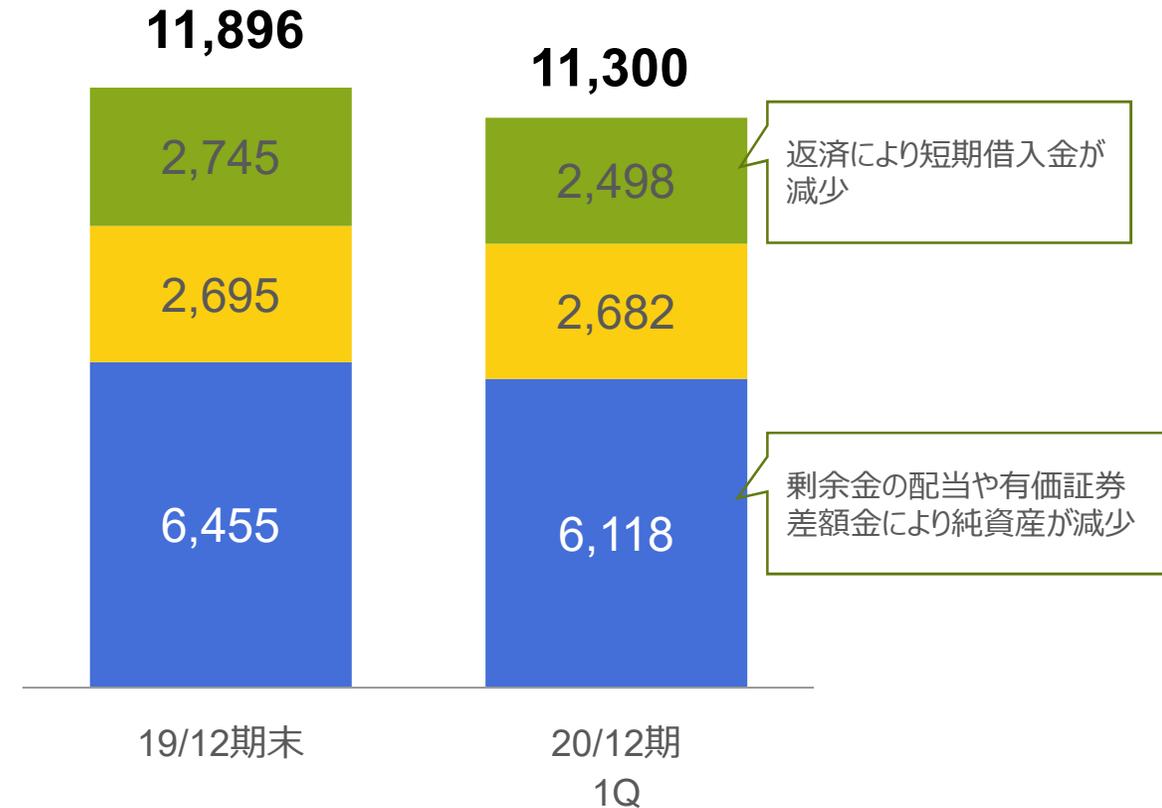
資産

■ 固定資産 ■ 流動資産



負債・純資産

■ 流動負債 ■ 固定負債 ■ 純資産



通期業績予想及び進捗

- ・エクスマーションなど、子会社の先行投資のため前期比では減益のもの、過去最高水準の利益は継続
- ・2Q以降は新型コロナウイルスの業績への影響が不明確なため、現時点では計画を据え置き

(単位：百万円)	2019年度		2020年度		前年同期比
	実績	売上高比	業績予想	売上高比	
売上高	13,478	-	14,500	-	+7.6%
売上総利益	3,070	22.8%	3,150	21.7%	+2.6%
営業利益	946	7.0%	850	5.9%	-10.2%
経常利益	975	7.2%	850	5.9%	-12.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	567	4.2%	550	3.8%	-3.1%

業績予想進捗

- ・1Qではほぼ計画どおりの進捗
- ・期初より下期偏重の計画としているため、現時点では想定どおりの進捗で推移

(単位：百万円)	2020/12期			2Q進捗	通期進捗
	1Q実績	2Q予想	通期予想		
売上高	3,150	7,000	14,500	45.0%	21.7%
売上総利益	683	1,550	3,150	44.1%	21.7%
営業利益	147	350	850	42.0%	17.3%
経常利益	156	350	850	44.6%	18.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	96	230	550	41.7%	17.5%

株主還元方針

- ・業績や配当性向を考慮しながら、今後も安定した配当の実施を重視
- ・通期業績予想と同じく配当予想についても現時点で据え置きとするが、基本的には19/12期の数値を土台に検討

年度	中間	期末	合計	配当性向
2018年12月期	0.00円	15.00円	15.00円	126.0%
2019年12月期	0.00円	16.00円 (19/12/19増配)	16.00円 (19/12/19増配)	34.3%
2020年12月期 (予)	0.00円	10.00～ 16.00円	10.00～ 16.00円	21.7～ 34.8%

中期経営計画（19/12期~21/12期）

（2019/1/31公表）

※現時点では新型コロナウイルスの影響を含めておりません。



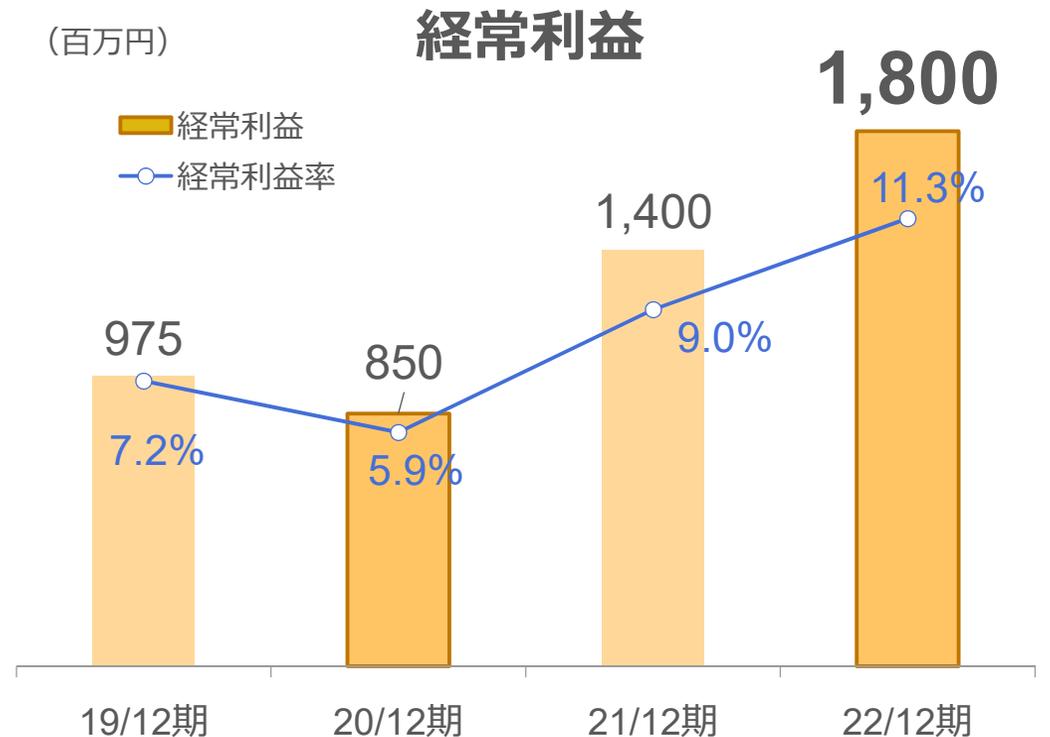
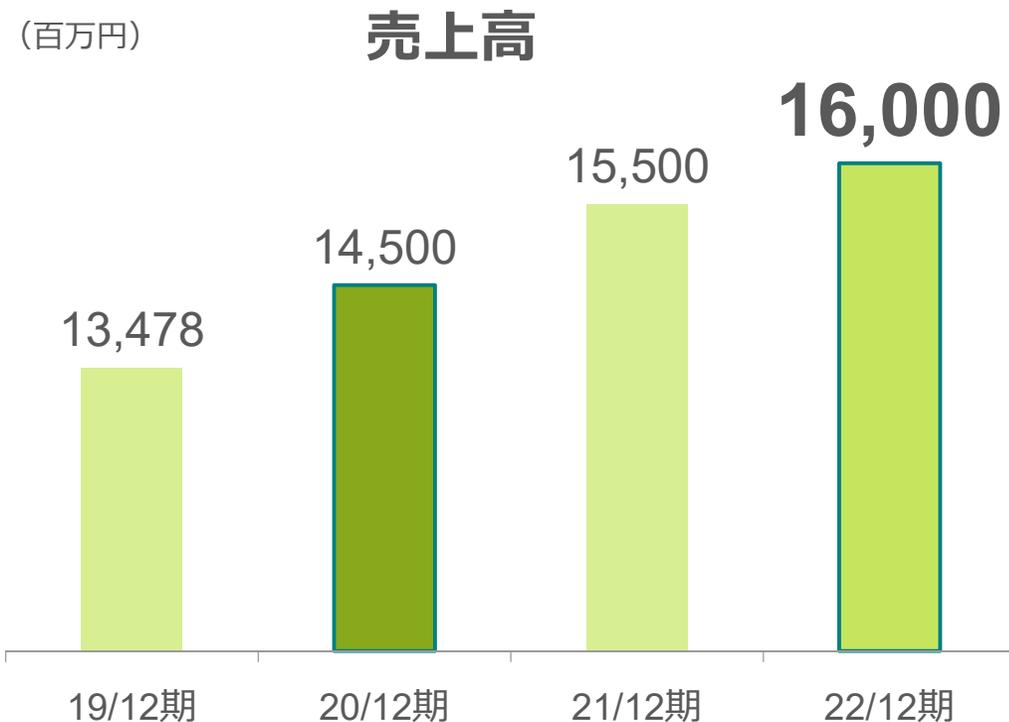
中長期の環境認識/当社戦略方針

- ・クラウド化、IoT、CASE等を前提としたサービスも始まり、デジタルトランスフォーメーション（DX）は一層加速
- ・各分野に特化した子会社によりどの分野にも対応できる技術力がある一方、増えるニーズを取り込みきれぬ組織力の強化が必要

各先端技術	環境認識	当社の戦略方針・施策
全体（DX）	<u>働き方改革や業務効率化の推進</u> により、企業のIT投資・自動化は堅調に推移	当社全体で需要をキャッチアップ
クラウド化	クラウドサービスの利用形態が多岐にわたり、今後はクラウドサービスを最優先とする「 <u>クラウドファースト</u> 」の時代へ	クラウドサービスを提供する(株)Fleekdriveを中心に展開。 <u>AIのサービス化とのシナジー</u> 、海外展開も視野に重点的に展開
IoT	業務効率化やコスト削減を目的としたIoT利用の時代から、 <u>IoTを前提とした新サービス創出の時代</u> へと移り、需要も好調。	IoT事業推進室を中心に、子会社で強みを持つ <u>センサー技術</u> を組み合わせ、 <u>工場での予知保全システム等</u> 、IoTも視野に入れた新ソリューションを創出
CASE	2020年以降、自動運転レベル3の車両が一般化の見込み。次世代コネクティッドカーなど、 <u>車両に追加されるソフトウェア</u> は急増へ。	グループ会社を中心とし支援体制を深耕。急増するニーズを取り込みきれぬ体制づくりのための先行投資も強化
FinTech & AI	FinTechは <u>個人のキャッシュレス化から金融機関の送金システム等</u> 、金融の業務部分まで範囲が拡充。ブロックチェーンやICOも研究が進む。AIはAIスピーカー等、個人利用の拡大の他、 <u>RPA導入</u> も進む。	FinTechではSBIグループの「 <u>証券コンソーシアム</u> 」への参加・協力等、将来的な関連開発の案件獲得に向け下準備を進める。AIでは <u>資本参加により可能となったAIサービス化</u> により、クラウドサービスとのシナジー創出に取り組む。

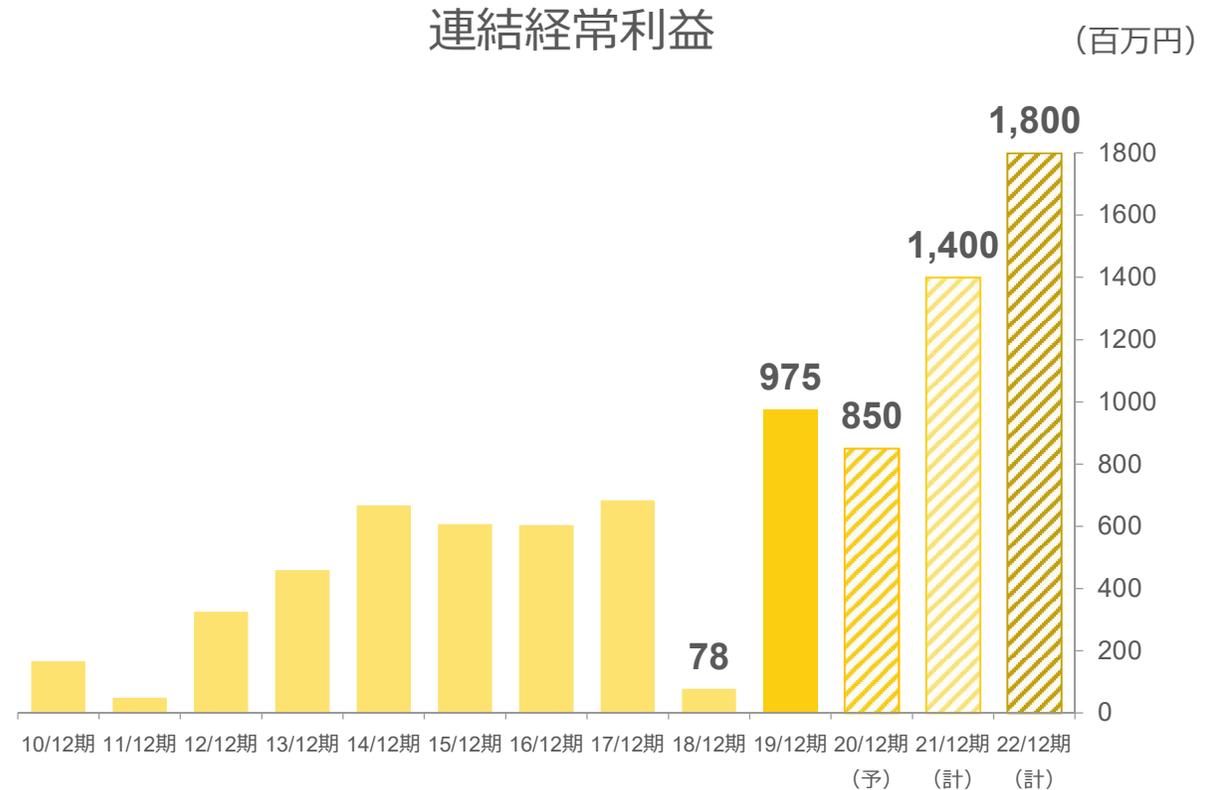
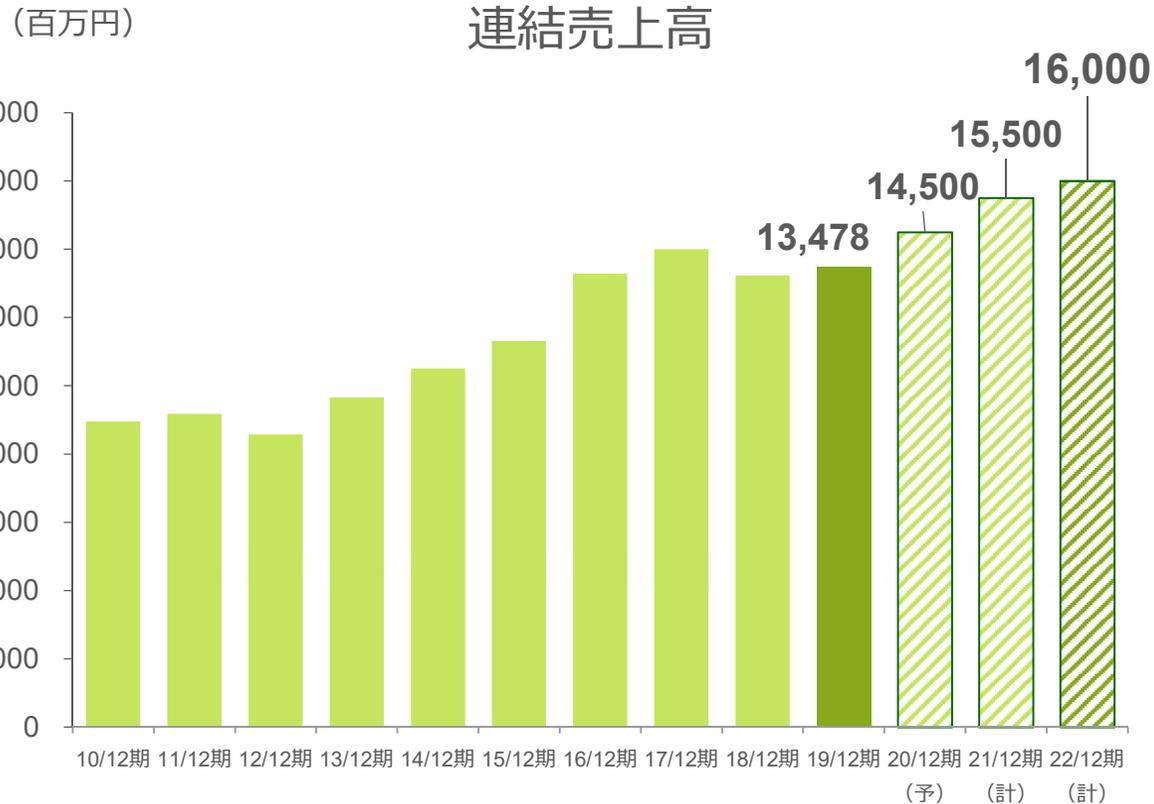
中期経営計画

- 売上高については長期的に堅調なものの、ストックビジネス強化に人員を割くため、保守的に設定
- クラウドサービスの黒字化や今期の先行投資による経営基盤強化などで、利益面については今後も高い伸びを見込む
- **新型コロナウイルスの影響は現在精査中のため、現時点で期初より変更なし**



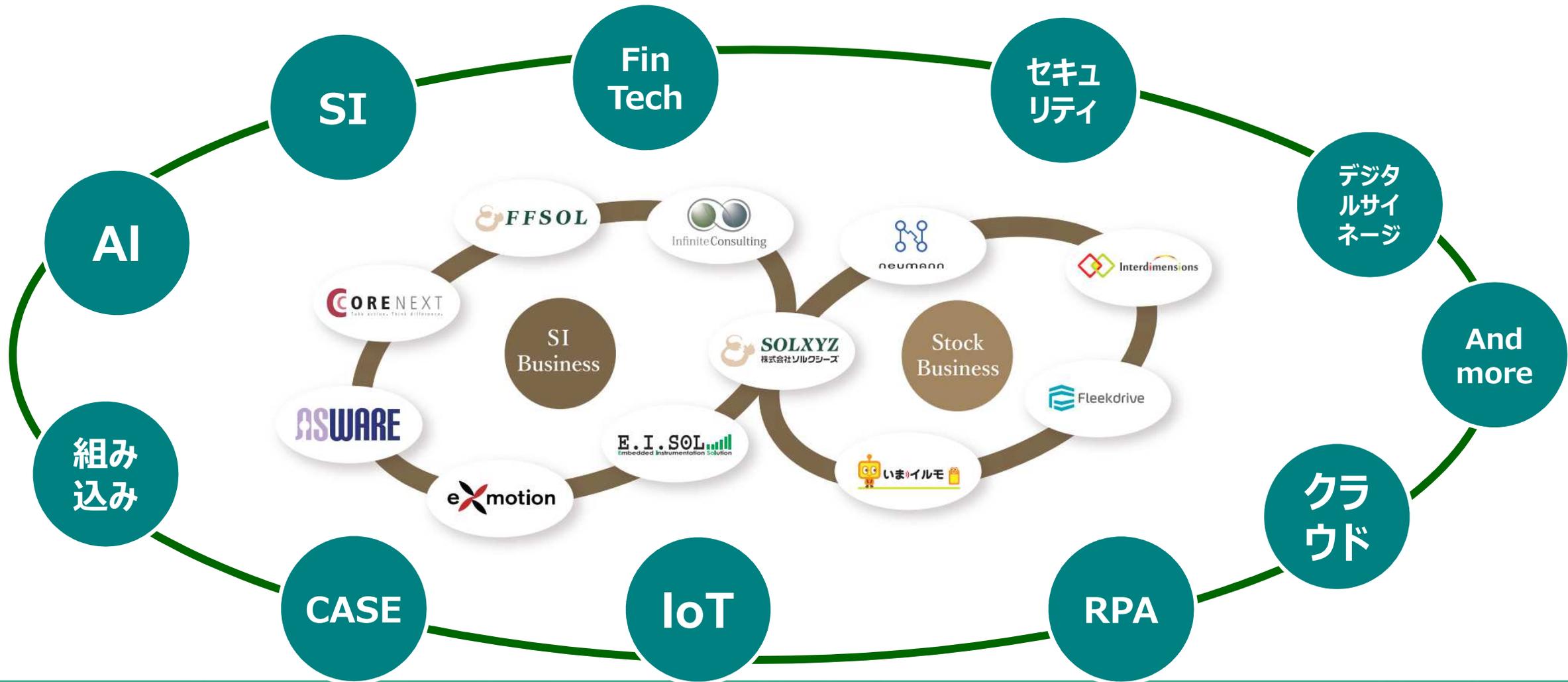
過去最高水準の業績へ

- ・売上高については過去最高値を每期更新の見込み
- ・営業&経常利益については先行投資で今期は減益も、同じく過去最高水準の数値を計画



基本方針：グループ全体で最新分野をカバー（専門店化戦略）

- 各分野で専門化された子会社を端緒に、最先端のニーズを確保



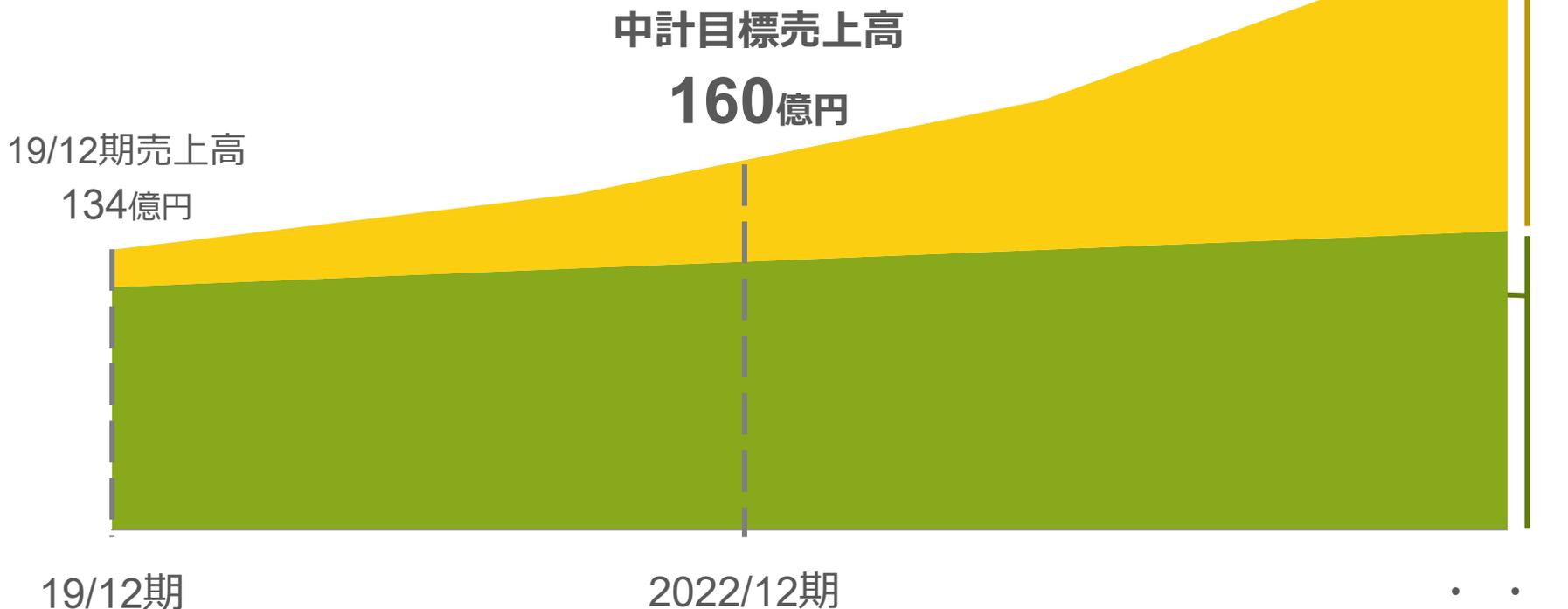
基本方針：SIとストックビジネスの比率を50：50へ

- SIビジネスをベースとしながら、長期的にはストックビジネスを拡大、それぞれが50:50となるようビジネスを展開

連結売上高の成長イメージ

将来の事業構成比

ストックビジネス
50%
SIビジネス
50%



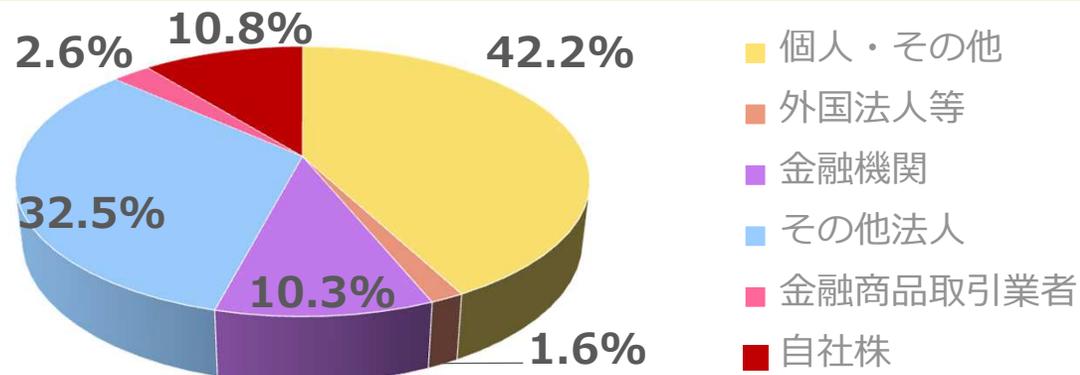
APPENDIX



会社概要

商号:	株式会社ソルクシーズ (SOLXYZ Co., Ltd.)
設立:	1981年2月4日
事業内容:	ソフトウェア開発・運用・保守、組み込みソリューション
本社所在地:	東京都港区芝浦3-1-21
資本金:	14億9,450万円 (2019/12月末現在)
決算期:	12月31日
従業員数	連結:741名 2019/12月末
役員:	代表取締役社長 長尾 章 他常勤取締役 10名、社外取締役 3名、監査等委員設置
子会社:	10社

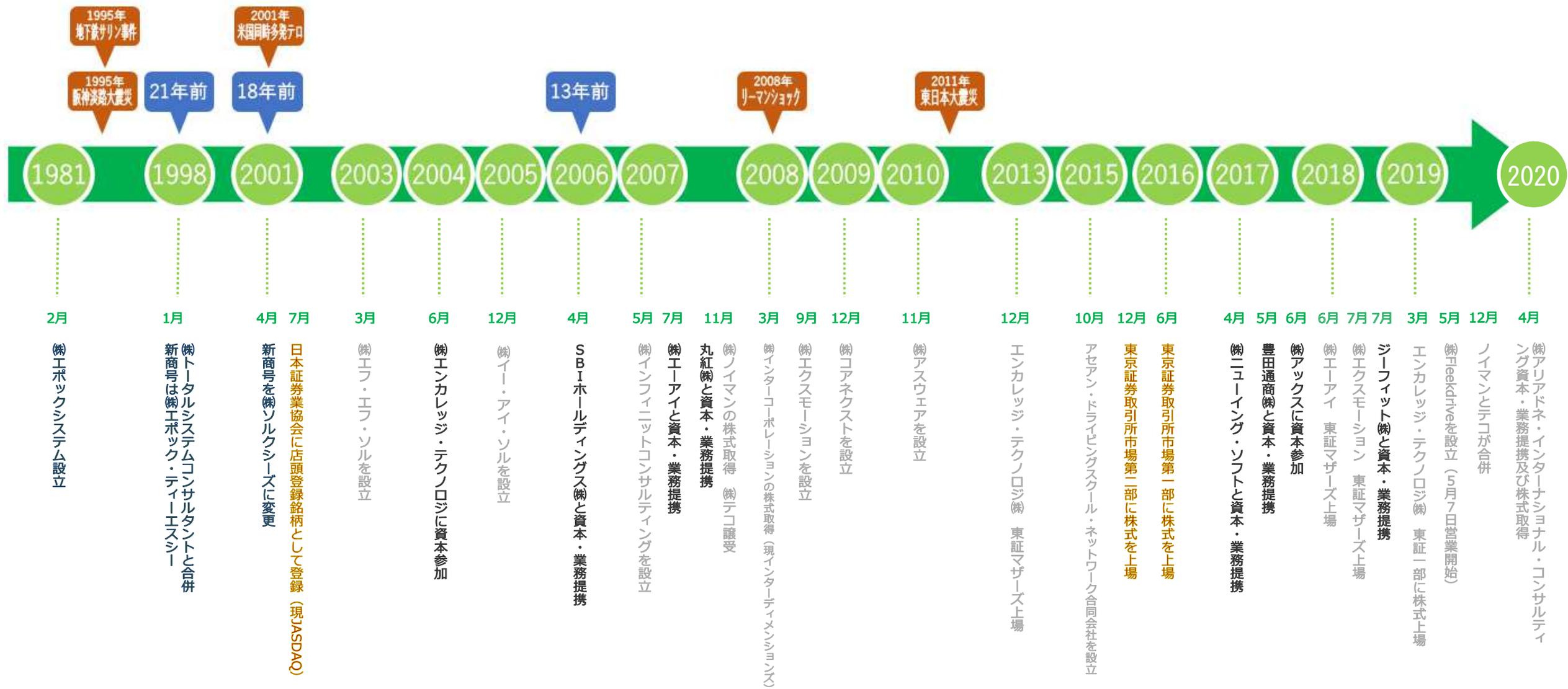
2019/12末 株主構成



代表取締役社長 長尾 章

1955年2月23日生
1983年3月 トータルシステムコンサルタント設立 取締役
1998年1月 合併により当社専務取締役
2006年3月 当社代表取締役社長に就任
他グループ企業10社の取締役兼務

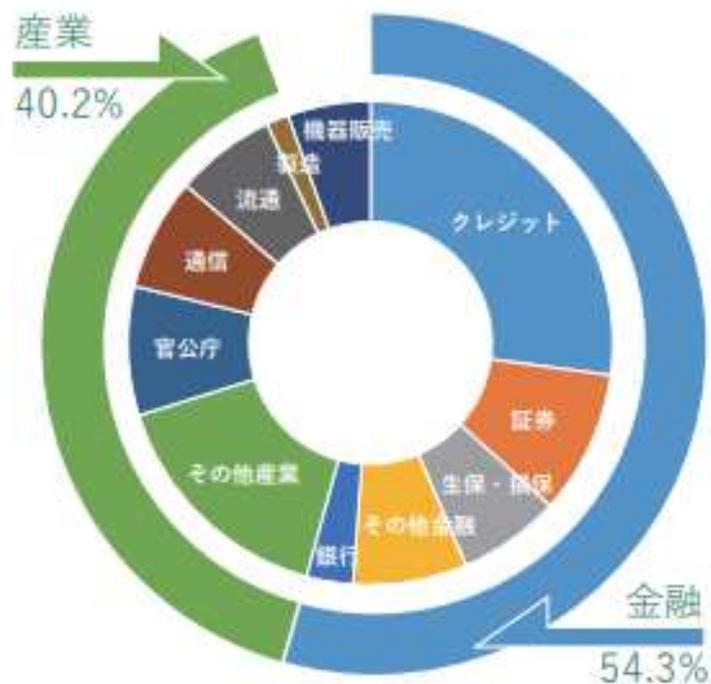
沿革



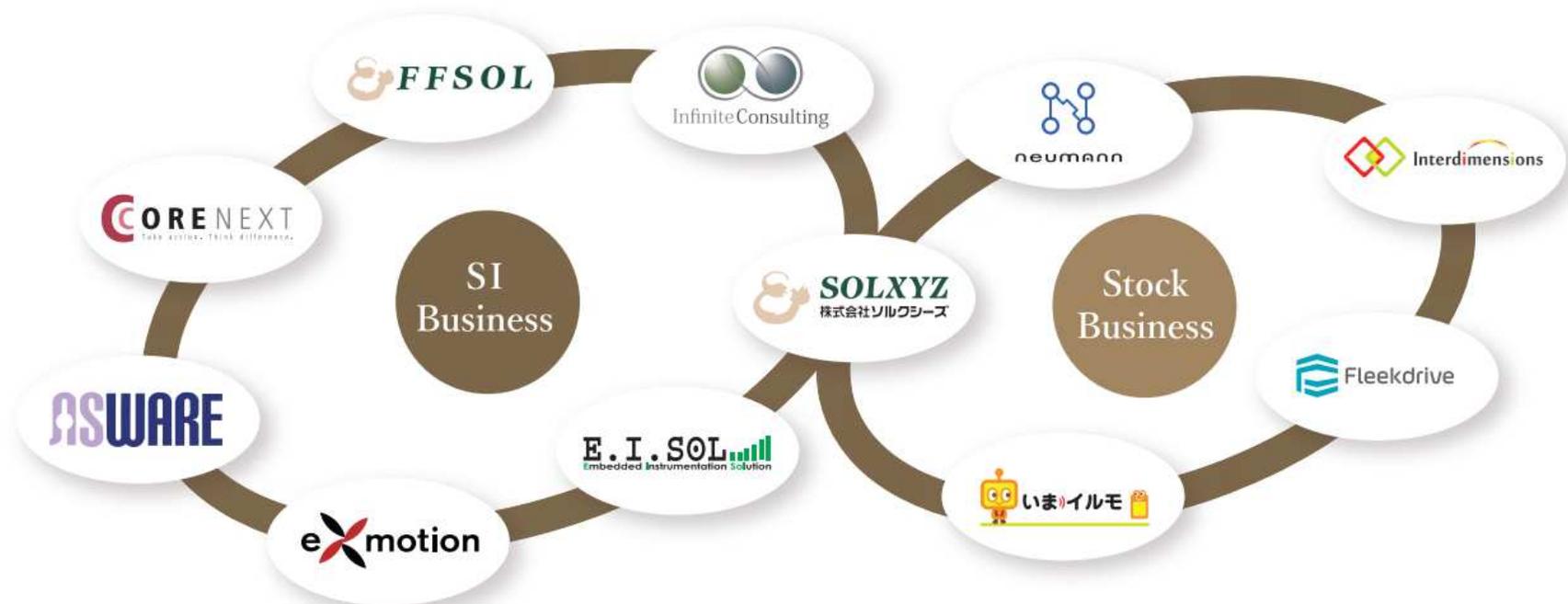
グループ構成

- ソフトウェア開発売上げが全体の98%超、うち54%を金融系が占める
クレジット系などを中心にソリューションを提供
- IoTや自動運転等、専門技術に長けた子会社10社を統括

業種別の構成比



グループ概要 (SIビジネスとストックビジネスの両輪)



S I ビジネス		
会社/サービス名	事業/サービスの内容	主要顧客
インフィニットコンサルティング	S I 上流工程のコンサルティング	証券業、電気機器業、医療機器業
エフ・エフ・ソル	S I 銀行系に特化	ネットバンク、都銀、地銀、信用金庫
コアネクスト	S I 投資顧問系に特化	投資信託業、投資顧問業
アスウェア	S I ICTインフラの設計・構築・保守	SIベンダー、通信業
エクスマーシオン	組込 製造業等の設計支援	自動車製造業、医療機器製造業
イー・アイ・ソル	組込 制御・計測系の組込システム、IoT	装置製造業、計測機器製造業

ストックビジネス		
会社/サービス名	事業/サービスの内容	主要顧客
ノイマン*1	教育機関向けソリューション開発・販売	自動車教習所、学校、塾
インターディメンションズ	デジタルサイネージ、AV、セキュリティ設置販売	商業施設、文教施設、自治体
いまイルモ	IoTによる見守りサービス	個人、介護施設
NEW! (株)Fleekdrive*2	クラウド環境上でのコラボレーションソリューション	各種企業

※19/5/7よりクラウドサービスを分社化し、(株)Fleekdriveとして営業開始

※19/12よりノイマンはtecoを吸収合併

免責事項

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、当資料作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら、実際には通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、当資料記載の業績見通しとは異なるリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等を行われぬようお願いいたします。

【本資料へのお問い合わせ先】

株式会社 ソルクシーズ 経営企画室 秋山

E-mail: ir-post@solxyz.co.jp

Tel: 03-6722-5011 Fax: 03-6722-5021

<https://www.solxyz.co.jp>